



2023年12月期 決算説明資料

2024年2月14日
富士ソフト 株式会社



目次

2023年 12 月期 決算

P2. 連結業績ハイライト

P5. グループ会社別 業績状況

P6. 連結セグメント別売上高・営業利益

P7. 連結損益計算書

P8. 連結貸借対照表

P9. 連結キャッシュ・フロー計算書

P10. 連結 S I 事業の受注高・受注残高

P11. 配当について

P12. 2023年12月期 業況

P17. 2024年12月期 業績予想



1.連結業績ハイライト①（4Q累計1-12月実績）

システム構築分野の好調により増収増益

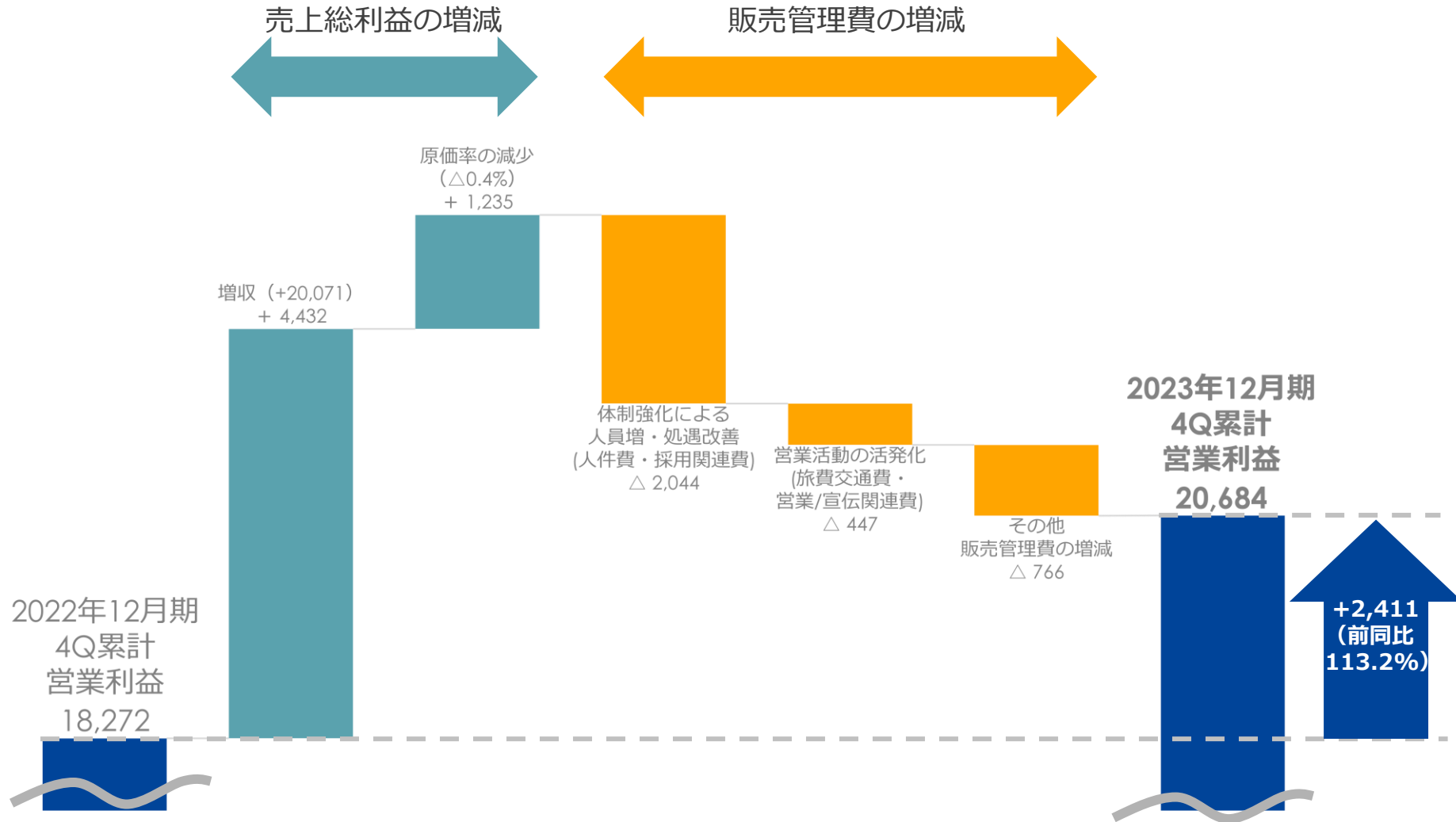
- ◇売上高は、業務系では製造業・金融業を中心に各分野向けのインフラ構築・基幹系開発案件等が好調に推移し、組込系では自動車関連のEV・先進分野および、機械制御系の産業分野向け開発案件等が好調に推移した結果、前同比107.2%になりました。
- ◇営業利益は、処遇改善・体制強化による人件費等の増加および、AIなどの新技術に関する調査研究費の増加はあるものの、増収および生産性の改善などにより、前同比113.2%となりました。
- ◇経常利益は、上場子会社4社の公開買付けに係るアドバイザー費用等の増加はあったものの増収により、前同比102.4%となりました。

（単位：百万円）

	2022年12月期	2023年12月期	前同差	前同比	2023年12月期	
	4Q累計実績	4Q累計実績			計画	計画比
売上高	278,783	298,855	+20,071	107.2%	300,000	99.6%
営業利益	18,272	20,684	+2,411	113.2%	20,000	103.4%
営業利益率	6.6%	6.9%			6.7%	
経常利益	19,205	19,675	+469	102.4%	20,300	96.9%
経常利益率	6.9%	6.6%			6.8%	
親会社株主に帰属する当期純利益	11,379	11,849	+469	104.1%	12,300	96.3%
親会社株主に帰属する当期純利益率	4.1%	4.0%			4.1%	
ROIC	8.1%	8.3%	+ 0.2pt	—	8.5%	△ 0.2pt
ROE	8.8%	9.2%	+ 0.4pt	—	9.0%	+ 0.2pt
EBITDAマージン	8.0%	8.3%	+ 0.3pt	—	8.5%	△ 0.2pt



連結営業利益の状況 (1-12月)



1.連結業績ハイライト②（4Q区間10-12月実績）

売上高は前同比108.8%と増収

売上原価率は76.9%に減少（改善）

◇売上原価率は、システム構築分野の拡大・生産性の改善により、前年同期より0.5pt減少（改善）となりました。（前年同期：77.4%）

販売費及び一般管理費は前年同期より885百万円増加

◇販売費及び一般管理費は、処遇改善・体制強化に伴う人件費の増加およびAIなどの新技術に関する調査研究の増加により、前年同期より885百万円増加となりました。

◇営業利益は前同比119.2%の5,177百万円となりました。

（単位：百万円）

	2023年12月期 3Q累計実績	前同差	前同比	2023年12月期 4Q区間実績	前同差	前同比
売上高	223,668	+14,008	106.7%	75,186	+6,062	108.8%
売上原価	173,809	+10,060	106.1%	57,810	+4,342	108.1%
売上原価率	77.7%			76.9%		
売上総利益	49,859	+3,948	108.6%	17,376	+1,720	111.0%
販売費及び一般管理費	34,353	+2,371	107.4%	12,198	+885	107.8%
営業利益	15,506	+1,576	111.3%	5,177	+834	119.2%
営業利益率	6.9%			6.9%		



2. グループ会社別 業績状況

	2023年12月期売上高				2023年12月期営業利益		営業 利益率
	通期実績	構成比	原価率	販管比率	通期実績	構成比	
グループ連結	298,855	100.0%	77.5%	15.6%	20,684	100.0%	6.9%
富士ソフト	206,984 (+7.7%)	69.3%	78.5%	14.7%	14,085 (+22.7%)	68.1%	6.8%
<p>業務系では製造業・金融業を中心に各分野向けのインフラ構築・基幹系開発案件等が好調に推移し、組込系では自動車関連のEV・先進分野および、機械制御系の産業分野向け開発案件等が好調に推移し増収となりました。営業利益は、増収および生産性の改善により増益となりました。</p>							
サイバネットシステム	21,546 (+8.1%)	7.2%	61.5%	31.3%	1,556 (▲11.4%)	7.5%	7.2%
<p>シミュレーションソリューションサービス事業の国内における保守契約の更新及びITソリューションサービス事業が好調に推移したことなどにより、増収となりました。営業利益は、セールスマックスの変化などによる商品原価の増加、人的資本投資に伴う人件費の増加、営業活動量の増加に伴う旅費交通費の増加などにより、減益となりました。</p>							
ヴィンクス	33,683 (+6.1%)	11.3%	76.5%	13.3%	3,427 (+10.6%)	16.6%	10.2%
<p>売上高は、国内小売業におけるDXのニーズの高まりと、既存顧客への更なる深耕が奏功したことなどにより増収となりました。営業利益は、増収により増益となりました。</p>							
サイバーコム	17,625 (+6.0%)	5.9%	81.0%	12.2%	1,201 (+13.9%)	5.8%	6.8%
<p>売上高は、ソフトウェア開発事業において金融系を中心とした業務系開発案件と、車載を中心とした制御系開発案件が好調に推移し、増収となりました。営業利益は、増収及び原価率改善により増益となりました。</p>							
富士ソフト サービスビューロ	12,196 (+3.4%)	4.1%	81.7%	12.6%	691 (+3.4%)	3.3%	5.7%
<p>売上高は、コールセンターサービス、BPOサービスともに年金関連業務が堅調に推移し、増収となりました。営業利益は、第2四半期累計期間までの不採算案件が影響したものの販管費の低減により増益となりました。</p>							
その他子会社・連結調整	6,821	2.3%	86.1%	17.9%	-277	-1.3%	-4.1%



3.連結セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	2023年12月期売上高 4Q累計実績 構成比		前同差	前同比	2023年12月期営業利益 4Q累計実績 営業利益率		前同差	前同比
全社計	298,855	100.0%	+20,071	107.2%	20,684	6.9%	+2,411	113.2%
SI事業	282,418	94.5%	+19,274	107.3%	18,904	6.7%	+2,130	112.7%
システム構築	181,728	60.8%	+17,144	110.4%	13,406	7.4%	+2,276	120.5%
組込系／制御系ソフトウェア	78,553	26.3%	+4,062	105.5%	6,695	8.5%	+720	112.1%
業務系ソフトウェア	103,174	34.5%	+13,082	114.5%	6,710	6.5%	+1,555	130.2%
プロダクト・サービス	100,690	33.7%	+2,129	102.2%	5,498	5.5%	△146	97.4%
プロダクト・サービス	86,546	29.0%	+2,643	103.2%	4,806	5.6%	+189	104.1%
アウトソーシング	14,144	4.7%	△513	96.5%	691	4.9%	△336	67.3%
ファシリティ事業	2,906	1.0%	+251	109.5%	1,010	34.8%	+195	123.9%
その他事業	13,530	4.5%	+545	104.2%	768	5.7%	+86	112.6%

セグメント別売上高のポイント

●組込系／制御系ソフトウェア

売上高は、モバイル系および社会インフラ系は減少したものの、自動車関連においてEV・先進分野、機械制御系において産業分野向け開発案件等が好調に推移したことにより、前同比105.5%となりました。

営業利益は、増収により前同比112.1%となりました。

●業務系ソフトウェア

売上高は、製造業・金融業を中心に各分野向けのインフラ構築・基幹系開発案件等が好調に推移し、前同比114.5%となりました。

営業利益は、増収および生産性の改善などにより前同比130.2%となりました。

●プロダクト・サービス

売上高は、他社ライセンス販売および、自社プロダクト販売が堅調に推移したことなどにより、前同比103.2%となりました。

営業利益は、増収により前同比104.1%となりました。

●アウトソーシング

売上高は、海外小売業向けITサービスの減少により、前同比96.5%となりました。

営業利益は、減収およびデータセンターにおける電力価格高騰の影響により前同比67.3%となりました。



4.連結損益計算書

(単位：百万円)

損益計算書のポイント

	2022年12月期	2023年12月期	前同差	前同比	2023年12月期	
	4Q累計実績	4Q累計実績			累計計画	計画比
売上高	278,783	298,855	+20,071	107.2%	300,000	99.6%
売上原価	217,216	231,619	+14,403	106.6%	-	-
売上原価率	77.9%	77.5%	①			
売上総利益	61,567	67,236	+5,668	109.2%	-	-
売上総利益率	22.1%	22.5%				
販売費及び一般管理費	43,294	46,552	+3,257	107.5%	-	-
販管费率	15.5%	15.6%				
営業利益	18,272	20,684	+2,411	113.2%	20,000	103.4%
営業利益率	6.6%	6.9%			6.7%	
営業外収益	1,220	1,025	△ 194	84.0%	-	-
営業外費用	323	1,908	② +1,584	-	-	-
持分法による投資損益	35	△ 126	△ 162	-	-	-
経常利益	19,205	19,675	+469	102.4%	20,300	96.9%
経常利益率	6.9%	6.6%			6.8%	
特別利益	190	973	③ +782	-	-	-
特別損失	1,111	209	△ 901	18.9%	-	-
税金等調整前当期純利益	18,284	20,439	+2,154	111.8%	-	-
法人税等合計	4,896	6,747	+1,850	137.8%	-	-
当期純利益	13,388	13,691	+303	102.3%	-	-
非支配株主に帰属する当期純利益	2,009	1,842	△ 166	91.7%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	11,379	11,849	+469	104.1%	12,300	96.3%
親会社株主に帰属する当期純利益率	4.1%	4.0%			4.1%	

① 売上原価率 (△0.4pt)

グループ会社での大型PJ案件における不採算影響はあるものの、富士ソフトの生産性改善により売上原価率は改善

② 営業外費用 (+1,584百万円)

上場子会社4社の公開買付けに係るアドバイザー費用等の増加

③ 特別利益 (+782百万円)

投資有価証券および有形固定資産の売却による増加

5.連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022年12月期 期末	2023年12月期 期末	前期末差
流動資産	112,730	123,153	+ 10,422
現金及び預金	32,736	35,324	+ 2,588
受取手形及び売掛金	56,634	62,696	+ 6,061
有価証券	8,500	8,100	△ 400
たな卸資産	5,552	5,919	+ 367
その他	9,307	11,112	+ 1,805
固定資産	128,104	134,443	+ 6,338
有形固定資産	99,160	104,163	① + 5,003
無形固定資産	5,426	5,544	+ 118
投資その他の資産	23,518	24,734	+ 1,216
資産合計	240,835	257,596	+ 16,761
流動負債	71,945	112,740	+ 40,794
支払手形及び買掛金	14,083	13,664	△ 419
短期借入金	17,855	47,504	② + 29,648
未払費用・賞与引当金	12,974	17,114	+ 4,140
未払法人税等	2,828	5,789	+ 2,960
工事損失引当金	421	345	△ 75
その他	23,782	28,321	+ 4,539
固定負債	16,145	15,934	△ 210
長期借入金	8,783	8,524	△ 259
その他	7,362	7,410	+ 48
負債合計	88,091	128,674	+ 40,583
純資産合計	152,744	128,921	③ △ 23,822
負債純資産合計	240,835	257,596	+ 16,761

貸借対照表のポイント

① 有形固定資産 (+5,003百万円)

予てから建設中の自社利用目的不動産の増加

② 短期借入金 (+29,648百万円)

上場子会社4社の公開買付けを目的とした借入金の増加

③ 純資産合計 (△23,822百万円)

上場子会社4社の公開買付け実施に伴う非支配株主持分および資本剰余金の減少
 ※資本剰余金の減少は取得金額と非支配株主持分との差額

6.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2022年12月期 4Q累計実績	2023年12月期 4Q累計実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,519	16,151	+2,632
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,522	△ 9,209	+6,312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,911	△ 5,447	+463
現金及び現金同等物に係る換算差額	123	204	
現金及び現金同等物の増減額	△ 7,789	1,698	
現金及び現金同等物の期首残高	40,876	33,086	
現金及び現金同等物の期末残高	33,086	34,785	

キャッシュ・フローのポイント

●営業活動によるキャッシュ・フロー

当期は増収・増益による入金増加により16,151万円の収入となりました。

なお、前期に有価証券売却に伴う法人税等の支払増があったことや、当期において業績評価期間の変更に伴う未払人件費の増加があったことにより、前同差は2,632百万円の増加となりました。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

当期は予てより計画していた自社オフィスの建設費用の支払いなどにより、9,209百万円の支出となりました。

なお、前同差は有価証券および有形固定資産の売却における収入増などにより、6,312百万円の増加となりました。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

当期は子会社株式の取得および配当金の支払いなどにより、5,447百万円の支出となりました。

なお、前同差は463百万円の増加となりました。

7.連結S I事業の受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2023年12月期 4Q累計実績							
	期首受注残高	前同比	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比
SI事業 合計	72,963	125.1%	284,230	103.5%	282,418	107.3%	74,775	102.5%
システム構築	46,427	121.3%	183,199	106.1%	181,728	110.4%	47,898	103.2%
組込系／制御系ソフトウェア	14,884	110.2%	79,821	105.2%	78,553	105.5%	16,152	108.5%
業務系ソフトウェア	31,542	127.4%	103,378	106.7%	103,174	114.5%	31,746	100.6%
プロダクト・サービス	26,536	132.3%	101,030	99.2%	100,690	102.2%	26,876	101.3%
プロダクト・サービス	24,717	135.7%	87,170	99.9%	86,546	103.2%	25,341	102.5%
アウトソーシング	1,818	98.2%	13,860	94.8%	14,144	96.5%	1,535	84.4%

受注高・受注残高のポイント

● システム構築分野のポイント

・ 組込系/制御系ソフトウェア

受注は、自動車関連および機械制御系が増加したことなどにより、前同比105.2%となりました。

また、期末受注残高は前同比108.5%となりました。

・ 業務系ソフトウェア

受注は、製造業および金融業向けの開発案件が増加したことにより、前同比106.7%となりました。

また、期末受注残高は前同比100.6%となりました。

● プロダクト・サービス分野のポイント

・ プロダクト・サービス

受注は、自社プロダクトは堅調に推移したものの、他社製品販売の減少により、前同比99.9%となりました。

また、期末受注残高は前同比102.5%となりました。

・ アウトソーシング

受注は、海外小売業向けITサービスの受注が減少したことにより、前同比94.8%となりました。

また、期末受注残高は前同比84.4%となりました。



8. 配当について

2023年12月期 期末配当

期末配当は期末配当予想通り、34.5円/株といたします。

※2023年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、期末配当決定額は当該株式分割後の基準で換算した額を記載しております。

■ 1株当たり配当金 (連結)

(単位:円)

	第2四半期末	直近の 期末配当予想	期末配当決定額	年間配当金
1株当たり配当金 (2023年12月期)	68.00円	34.50円	34.50円	—

	2023年12月期 期末
配当性向	36.3%

※株式分割前換算した場合の2023年12月期の1株当たり期末配当金は69円となり、1株当たり年間配当金は137円となります。



2023年12月期業況

2023年度の業況 (主な連結セグメントの状況)

お客様業種	主な連結セグメント					
	システム構築分野		プロダクト・サービス			その他
	業務系	組込・制御系	自社プロダクト		他社プロダクト	
機械製造業 FA、医療、モバイル、 家電、エレクトロニクス、他	↑ 好調	↘ 堅調	↘ more NOTE	↘ CAE系	↘ CAE系	
自動車関連		↑ 好調				
社会インフラ系 通信系、交通、エネルギー、 他		↘ 低調	↑ FAMシリーズ	↘ 他社ライセンス (MS、VMware、AWS、Salesforce等)	↘ 物販系 (PC・サーバ・タブレット等)	
金融業 生保、損保、クレカ、 銀行、証券、他	↑ 好調		↑ 証券系ソリューション			
流通業 小売り、卸、EC、他	↘ 堅調		↑ デスクトップフルサービス	↑ 流通系ソリューション		
公共系 官公庁、教育、医療、他	↑ 好調		↓ 未来シリーズ			
その他 情報通信、その他サービス、 一般コンシューマ、他			↑ WiFiルーター			↘ BPO、コールセンター



富士ソフト単体：セグメント別業績状況

	2023年12月期売上高			2023年12月期営業利益			営業利益率			
	(単位：百万円)	4Q累計実績	構成比	前同比	原価率	販管比率	4Q累計実績	営業利益率	前同比	前同差
全社計		206,984	100.0%	107.7%	78.5%	14.7%	14,085	6.8%	122.7%	+0.8pt
SI事業		203,454	98.3%	107.7%	79.0%	14.6%	13,070	6.4%	122.6%	+0.8pt
システム構築		146,161	70.6%	111.5%	74.8%	17.4%	11,338	7.8%	126.5%	+0.9pt
組込系／制御系ソフトウェア		72,418	35.0%	106.9%	74.2%	16.9%	6,444	8.9%	115.1%	+0.6pt
業務系ソフトウェア		73,742	35.6%	116.4%	75.4%	17.9%	4,893	6.6%	145.7%	+1.3pt
プロダクト・サービス		57,293	27.7%	99.1%	89.5%	7.5%	1,731	3.0%	101.8%	+0.1pt
他社プロダクト		48,526	23.4%	99.0%	91.5%	5.3%	1,535	3.2%	128.6%	+0.7pt
自社プロダクト		2,861	1.4%	104.6%	69.3%	22.9%	224	7.8%	75.1%	△ 3.1pt
アウトソーシング		5,905	2.9%	97.1%	83.0%	17.4%	-28	-	-	-
ファシリティ事業		3,430	1.7%	107.9%	51.5%	18.7%	1,022	29.8%	123.4%	+3.7pt
その他事業		99	0.0%	55.0%	48.6%	58.6%	-7	-	-	-

2023年度の状況

システム構築	・システム構築分野強化のための成長投資として、約20億円の人財投資(採用研修・教育関連)を実施(経年)
組込系/制御系ソフトウェア	・自動車分野、機械制御系分野における、お客様IT投資需要の高まりは継続中(コロナ禍からの回復基調継続) ・モバイル、社会インフラ分野の減益影響はあったものの、自動車分野・機械制御系を中心とした生産性改善により増益
業務系ソフトウェア	・DXを背景としたIT利活用の機運は高く、金融・製造向けを中心とした基幹系システム開発・インフラ構築案件が成長を牽引 ・各分野における生産性改善により増益および利益率も大きく改善
他社プロダクト	(概要) 他社ライセンス、ハードウェア関連製品の販売(受託開発案件に使われる他社製品販売も含む(開発付帯サービス販売)) ・利益率は低いが、新規お客様開拓の接点作りのツールとして今後も一定レベルの維持推進
自社プロダクト	(概要) 通信・クラウド・ロボット技術などシステム構築のノウハウを活用した、自社開発製品の製造・販売(SW/HW) ・前年の大型案件の反動はあるが、主力製品は伸長。新たなマーケット需要へ対応し、規模拡大を目指す
アウトソーシング	(概要) システム開発案件の運用・保守、自社不動産を活用したデータセンター事業などトータルサービスの一環として推進 ・電力価格高騰の影響を受け、データセンター事業の原価増加による一時的な減益



重点技術戦略：〈AIS-CRM〉の状況（単体）

	2022年 1,126億	前年比 +11.8%	2023年 1,259億
AI	開発中心 <u>30億円</u>	+46.6%	開発中心 <u>44億円</u>
IoT	開発中心 <u>34億円</u>	-6.9%	開発中心 <u>31億円</u>
Security	開発、 ライセンス <u>138億円</u>	+18.7%	開発、 ライセンス <u>164億円</u>
Cloud	ライセンス、SI、インフラ関連、 ネットビジネス分野 等 <u>594億円</u>	+13.0%	ライセンス、SI、インフラ関連、 ネットビジネス分野 等 <u>671億円</u>
Robot	開発中心 + PALRO、ロボSI 等 <u>50億円</u>	+2.8%	開発中心 + PALRO、ロボSI 等 <u>52億円</u>
Mobile	開発、 プロダクト 等 <u>83億円</u>	-17.8%	開発、 プロダクト 等 <u>69億円</u>
Auto Motive	開発中心 <u>197億円</u>	+16.3%	開発中心 <u>229億円</u>

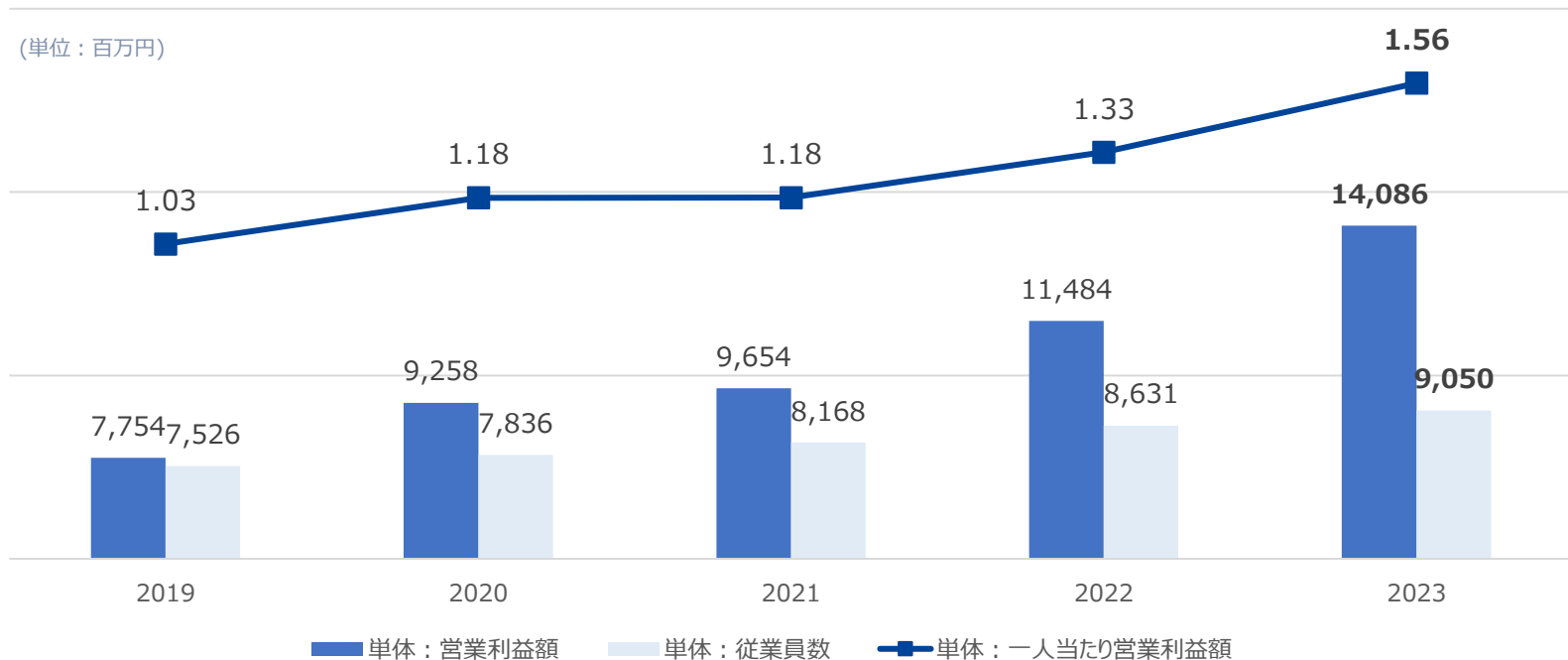


生産力強化×生産性改善（単体）

生産力の強化(採用)とともに、生産性改善を実施 一人当たり営業利益額の増加を推進

- ◇2022年度以降、コロナ禍を受け一時的に抑制していた新卒・中途採用も再拡大させ生産力強化は継続するとともに、お客様提供価値向上・原価/販管改善にも積極的に取り組んでおり、一人当たりの営業利益額は年々増加傾向。
当年度も事業成長/収益力の強化をテーマとした企業価値向上の取組を中心に、更なる生産力強化×生産性改善を推進した結果、一人当たり営業利益額は増加。

一人当たり営業利益額の状況（単体）



※従業員数：臨時・嘱託・受入社員および、休業・休職中の社員を除く



2024年12月期 連結業績予想

- ◇当期は、好調なIT投資需要への対応および生産性改善の推進により増収増益となり、2024年度までの3カ年計画における概ねの経営指標を一年前倒しで達成いたしました。
- ◇2024年度は、不動産流動化に伴うファシリティ事業の縮小・オフィス移転費用の増加を見込み、中長期での成長に向けた新規事業投資も実施予定です。これらの影響はありつつも、グループシナジーの追求・お客様提供価値向上・適切な資本配分を推進し、更なる成長と収益性／資本効率性の改善に挑戦いたします。
- ◇本業績予想は、不動産流動化のA判定物件8件※1の売却益59億円(税後)を含む当期純利益の計画としております。2024年度に流動化予定のB判定物件9件※1については、大きく金額変動が発生する可能性を考慮し、現時点の業績予想には含んでおりません。今後、売却価格が確定次第、適時に開示いたします。

	2023年12月期	2024年12月期	前年差	前年比	(参考)2024年度 不動産流動化 影響	(参考)2024年度 不動産流動化 影響除外
	(単位:百万円) 実績	計画				
売上高	298,855	315,000	+16,144	105.4%	△1,000	316,000
営業利益	20,684	22,000	+1,315	106.4%	△1,200	23,200
営業利益率	6.9%	7.0%			—	—
経常利益	19,675	21,800	+2,125	110.8%	—	—
経常利益率	6.6%	6.9%			—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	11,849	21,000	+9,151	177.2%	+5,100	15,900
親会社株主に帰属する当期純利益率	4.0%	6.7%				
ROIC	8.3%	8.8%	+0.5pt	+0.5pt	—	—
ROE	9.2%	15.9%	+6.7pt	+6.7pt	+3.6pt	12.3%
EBITDAマージン	8.3%	8.3%	+0.0pt	+0.0pt	—	—

※1 2023年8月10日「企業価値向上委員会及びガバナンス委員会の活動状況に関する説明資料」にて公表



2024年12月期 配当の推移と計画

2024年12月期 年間配当は84円／株予定

2024年12月期の配当計画は、一株当たり純利益333.80円・一株当たり配当金は84円とし、連結配当性向は25.2%※1といたします。

■ 1株当たり当期純利益・配当金・配当性向の推移(連結)

(単位:円)

	2020年12月期 実績	2021年12月期 実績	2022年12月期 実績	2023年12月期 実績	2024年12月期 計画
1株当たり当期純利益 ※2	273.96	291.47	362.57	376.96	333.80 (株式分割前:667.60)
1株当たり配当金	46	52	127	137	84 (株式分割前:168)
記念配当	5	-	-	-	-
配当性向	18.6%	17.8%	35.0%	36.3%	25.2% ※1

- ※1 2024年度12月期における、保有不動産(A判定物件)の売却益59億円(税後)を除いた場合の連結配当性向は**35.1%**となります。
なお、不動産売却益については、2024年-2028年期間の中期経営計画におけるキャピタルアロケーション方針に基づき、自社株取得への活用を検討しております。
- ※2 2023年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。
2020年から2023年12月期までの「1株当たり当期純利益」および「1株当たり配当金」は株式分割前の金額を記載し、2024年12月期計画は、当該株式分割後の金額としています。



※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性があります。

また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、併せてご理解いただきますようお願い申し上げます。